

P T A 会報

賓根

編集・発行No.135

**奈井江商業高校
P T A 事務局**

 奈井江町南町2区
 TEL 0125-65-2239
 FAX 0125-65-2350

卒業生の皆さんへ


 P T A 会長
 井添 誠 二

この度、御卒業される皆さん、卒業おめでとうございます。また、保護者ならびに御家族の皆様に心からお祝い申し上げます。

格別な思いで本日を迎えていることと思います。3年前、夢と希望に満ち溢れて奈井江商業高校の門をくぐった時のことがついこの間のよう思い出されます。卒業生の皆さんは、これまで家族、地域の方々から見守られてきた生活から少しずつ社会へと出ていくわけですが、喜びの反面不安も多いかと思えます。就職する友人、進学する友人に分かれていきます。それぞれの道は違いますが、皆さんの心の中には、3年間共にした友との固い絆があるのです。これから自分が決めた目標に向かって進んでいく中で、辛いことや寂しいこと、挫折することになることがたく

さんあると思います。そんな時はクラスメイトのあの顔、3年過ごしたあの頃を思い出してください。きつと元気になるはずです。

それから、失敗した時のことを考えて尻込みしないでください。その時思ったこと考えたことは、失敗を恐れずに進んでチャレンジしてください。皆さんは誰もが若い無限の可能性を持っています。3年間育んだ経験を武器に頑張り過ぎないよう頑張ってみてください。失敗こそ勝利への第一歩だと思います。

最後に、今日から新たな生活が始まるわけですが、どうか健康第一に考えこれまで育てていただいた家族への感謝の気持ちを忘れないで、いつまでも元気に過ごしてください。



卒業証書

奈井江町とともに


 校長
 山田 仁 樹

早いもので、4月に赴任してからもう1年が経とうとしています。私は奈井江商業高校が今までの伝統を継承しながら、新たな取組にチャレンジをすること、生徒がより住みやすい学校環境を作ること、地域のために学校ができることの3点を念頭に置きながら、学校経営を行ってきました。

奈井江町は教育にとっても力を入れている町でもあり、特に今年度は教育環境の変化に伴い、保護者や学校、地域が連携し協働する「コミュニティスクール」実現のため、私も検討委員会委員として何度もワークショップに参加させていただきました。そこで感じたことは、学校種を問わず教員や教育関係機関だけでなく、地域の様々な年齢層、様々な職業の大人達が子どもたちの成長に携わろうと本気で取り組んでいること、そして運営している奈井江町教育委員会がきめ細かく綿密に地域を巻き込んだムーブメントにしていることが感動を覚えました。さて、本校でもいくつかの新たな取組を行いました。何が何と言っても先生方の理解力と組織力、生徒達の行動力と頑張りがなければ、何も成果物はできません。本校の先生方、生徒の皆さんには今年1年感謝の言葉しかありません。

チヨコボランティアと名付けた小さなボランティア活動では、北海道ベースボールリーグの空知ストレーツの皆さんと協力して、学校近隣の草刈り活動を行いました。さらに11月には「スモホ教室」を実施し、1年生の生徒がマンツーマンで地域の方々に「EYE」の使い方を教えました。私も一緒に参加しましたが、参加された方々が終始笑顔で生徒達の説明に耳を傾け、一緒に笑ってスモホを操作している姿が非常に微笑ましく思えました。その名のとおり小さなボランティア活動ですが、草の根運動をこれからも続けていきたいと思っています。

奈井江町では岡山県高梁市と友好都市を結

び、現在まで文化交流などをされていますが、相澤教育長の計らいで高梁市の城南高等学校と連携を結ぶことができ、まずは本校の1年生が城南高校の生徒の皆さんに遠隔で自己紹介をすることからスタートしました。今後もし交流を深めることができるよう学年団を中心に考えていくところです。

さらに12月22日(木)、3年生が「課題研究」という授業の中で、地域の課題について探究し、その成果を発表する課題研究発表会では、三本奈井江町長、相澤教育長を始め、地域の方々にもご臨席いただき、最高学年として商業高校ならではの特色ある発表を行いました。「奈井江町の活性化」をテーマに移住・特産品の開発「観光」「奈井江町紹介」など3年生ならではのレベルの高い発表がありました。中にはスクラッチやVBA(ビジュアルベーシック)・フューチャーアプリケーションなどプログラミング言語を使って奈井江町の紹介をゲーム形式にした発表もあり情報処理科ならではの素晴らしい成果発表でした。さらに1年生では「地域を知る発表会」が今年度初めて行われました。「総合的な探究の時間」において、3年間地域の課題を探究する活動を行う新たな試みで、地域の方々の助言もいただきながら、自然・福祉・鉱工業・観光などのグループに分かれて活動してきました。今年度は3年間の取組の途中経過として、ポスターセッションという形態で中間報告をしました。ステージ発表とは違い、5つのグループが壁に貼ったポスターを使って目の前の観客に話しかけるという形態なので、距離が近くやり取りのしやすい環境の中で、地域の方々からの多くのアドバイスもいただくことができました。なお、初年度でありながらエントリーした「マイプロジェクトアワード」の地域サミットに「自然班①」と「鉱工業班」の2グループが参加できたのは画期的なことだと大変喜んでおります。

少人数だからこそできる教育の推進というのは本校の取組の一つでもあります。今年度本校に勤務して地域の方々に親身になって協力いただいたことや、奈井江町町長、教育長をはじめ役場の方々や町の教育関係機関とも連携した取組は、今後の本校の在り方のヒントにもなりました。それもこれも本校の教員が積極的に関与し、生徒が一生懸命行動してくれたおかげだと思っています。来年度も課題は多いですが、学校を取り巻く環境が少しでもよくなるように尽力したいと考えています。

変化の時代を乗り越えて



3学年 担任
前田 貴世

卒業を迎えられた16名のみなさん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様、お子様のご卒業を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。また、これまでいただきましてご支援、ご協力につきまして深く感謝申し上げます。保護者の皆様のご協力なしではこの日を迎えることが出来なかったと思います。ありがとうございます。

今年度の3年生は、入学当初から、新型コロナウイルスの影響で、通常の授業や行事の運営にさまざまな影響を受けた学年でした。入学後、新しい仲間達との出会いから日も経たないうちに、緊急事態宣言により、学校が臨時休校となり、授業が通常通りに戻ったのが1年の6月からでした。この年は宿泊研修や学校祭が実施できず、クラスづくりや生徒同士の関係づくりにも少なからず影響していたかもしれません。

しかしながら、徐々に、行事も実施することが出来、生徒それぞれが、学習、部活動、行事にと持ち前の個性を発揮し、クラスとしても協力が見えてきました。

3年生は『とにかく学校に来る』『休む人が少ない』『周りの先生方からよく言われました。臨時休校を経験しているからなのか、リモートでなく直接学校で勉強が出来ること、仲間と楽しく過ごすこと、学校生活を充実させることが本当に大事なのだとその経験から感じていたのだと思います。』

この3年間、コロナウイルスや大雪による悪天候の影響などで、行事等、変更を余儀

なくされることが多々ありました。しかしながら、変化の中で自分自身がどのように考え、動くべきなのか、ことも達なりに前向きに取り組む姿勢が見え、努力していたと思います。

高校生活のこの経験は社会に出てからきつと役に立つことでしょう。3年間、頑張れたのだから、自分に自信を持つてください。ただ、過信過ぎてはいけません。これまでの努力や経験が自分自身を成長させるのです。

新しい生活、新しい環境がこれから待っています。困難なことに直面することもあるかもしれませんが、高校時代の経験や努力がその壁を乗り越えさせることが出来ると思います。これからも積極的にチャレンジし、努力し続けてください。担任も、みなさんとともに過ごすことで勉強させてもらいました。3年間ありがとうございました。みなさんのこれからのご活躍を祈ります。健康には十分気を付けて頑張ってください。



高校生活を振り返って



3学年
本田 朱里

3年前、オーブンスクールに参加し、授業が面白そうで、少人数ならではの雰囲気、良さなどに魅力を感じ、将来事務の仕事に就きたいという目標を叶えるために奈井江商業高校への進学を決めました。コロナ禍での高校生活スタートとなり、活動が制限される中でも新たな経験を積み重ねることができました。簿記や情報に関する授業では、仕組みや処理方法について得た知識を活かし、効率よく処理していく技術を身につけることができました。また、資格を取得するために、放課後の講習に積極的に参加し、わからないところを先生に聞いたり、友達と教えあったり、先生が解説してくれる間違えやすいところをチェックして頑張ってきました。努力した分だけ力がつき、資格が取得できた時はとても嬉しかったです。

部活動は、日本文化に触れながら、おもてなしの心を学ぶことが出来る茶道部に入部しました。抹茶が苦手でしたが、お稽古を重ねるうちに抹茶とお菓子の甘さとの相性の良さに気付きました。また、お稽古をとおして所作を覚え、相手を思いやることや楽しんでもらうこと、丁寧さを大切にすることを学び、礼儀作法を身につけることができました。

2年の後期から、生徒会執行部として学校祭や体育祭、球技大会などの企画運営に携わりました。コロナ禍で制限がある中、企画の立案や準備は大変でしたが、全校生徒に楽しんで貰えるような行事を考え、運営していくことは、とてもやりがいのある仕事でした。

特に印象に残っているのが学校祭です。執行部として初めて企画運営に関わったので、何もかもが初めてで最初は戸惑いましたが、なんとか2日間日程を成功させたいという気持ちで、先生方や生徒会のみなど力を合わせて準備しました。1日目のよさこい演舞は2年ぶりに地域の皆様の前で披露することができました。2日目は雨が降ってしまい、模擬店は体育館の中での実施となりました。しかし、みんな楽しそうな笑顔を浮かべていたので雨でも実施できたことが本当に嬉しかったです。ビンゴ大会、生徒会企画、MJやクラス発表も、みんなで楽しみ、笑い合えるものにするのができたのではないかと思います。花火大会も雨の中、なんとか打ち上げることができ、みんなで写真を撮り、最後に楽しい思い出となりました。

高校生になって新しいことに挑戦し、たくさんの方の力を体験する中で、人とのコミュニケーションの大切さ、誰かのために行動できた時の充実感、自分の努力が結果となった時の喜びを得ることができました。

私は、菓子メーカーの事務職として内定をいただきました。茶道をとおして、お菓子に興味を持ち、3年間、奈井江商業高校で学ぶことで、事務の仕事に就きたいという目標を叶えることができました。これから社会に出てコミュニケーションを大切に、丁寧かつ効率よい仕事で役に立てるよう、新たな挑戦、努力を続けていきたいと思っています。3年間ありがとうございました。



進路指導部より

今年度の進路活動を

振り返って



進路指導部長

小泉 安司

入学以来、新型コロナウイルス流行の中で高校生活を過ごした生徒たちですが、進路についても急遽就職から進学に変えるなど、紆余曲折がありました。最終的にはそれぞれの希望を達成していったといえます。

就職ではコロナ禍で経営的にはきびしい中でも、若手を採用したい管内企業を中心に求人が多く、生徒の希望通りの就職内定となりました。また、今年度は公務員も自衛官に加え、11年ぶりに地方公務員にも合格できました。

進学では、介護・整備・服飾等の専門学校に決定しましたが、総合型選抜（以前のAO入試：面接や書類審査で合格が決まる）での進学でしたが、自らの希望を実現するためにチャンスを広げた結果、総合型での合格でした。

1月末現在では、まだ1名の進路先が決まっていますが、この實根

令和4年度 3年生進路決定状況（令和5年1月末現在）

			男	女	計
進 学	大 学		0	0	0
	短 期 大 学		0	0	0
	専修・各種学校		4	1	5
	合 計		4	1	5
	未 決 定 者		0	0	0
就 職	民間企業	空知管内	3	3	6
		道 内	1	1	2
		道 外	0	0	0
	公 務 員		2	0	2
	合 計		6	4	10
	未 決 定 者		0	0	0
進路未定者			1	0	1

が配布される頃には希望者全員が合格していることを願っています。

進路指導部では、1・2年生の進路実現に向け、次年度以降も企業見学会や職業適性検査の実施など、自分を見つめ、将来を考えるための取り組みを始めています。その中でも少しでも早く就職か進学か、将来をイメージしながら具体的に考えてもらいたいし、そのためにもご家庭でご相談いただければと思います。

令和4年度 進路合格・内定状況

令和5年1月末現在

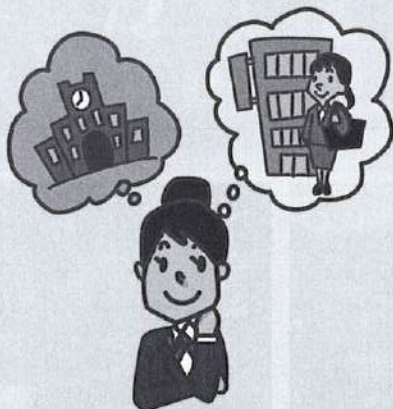
<進学先>

《専修・各種学校》

栗山町立北海道介護福祉学校 2名
せいとく介護こども福祉専門学校
北日本自動車大学校
専門学校札幌デザイナー学院

<就 職>

砂 川 市 吉川食品 株式会社
株式会社 ホリ
合資会社 ホリホールディングス
美 唄 市 株式会社 道央メタル
株式会社 松岡自動車
岩見沢市 株式会社 ひがし北海道イエローハット
江 別 市 角山開発 株式会社
札 幌 市 TAKEDAXT 株式会社
公 務 員 奈井江町職員
陸上自衛隊 一般曹候補生



ドキドキ♥わくわく☆ 見学旅行

2学年 井添 ことみ



10月25日から28日の3泊4日で京都、大阪、奈良に行きました。中学生の時の見学旅行はコロナ禍で感染者数が多かったため、本州の方には行けなかったのですが、今回こうしてクラスみんなで見学旅行に行けて、とても嬉しかったです。この3泊4日の見学旅行で1番楽しかったこととおもしろかったものを話します。

1番楽しかったことは、USJに行ったことです。初めてのUSJだったので本当に楽しみにしていました。特に楽しかったことは、夜のホラーナイトでゾンビに会えたことです。カメラを向けると、チェンソーを鳴らして襲いかかってきても怖かったです。ショーは人が多く見られま

せんでした。ほかにも、ミニオンやクッキーモンスター、キティちゃん、マイメロディーにも会いました。どのキャラクターもかわいかったです。アトラクションでは、ハリポッターやジュラシックパーク、スパイダーマンなど色々乗りました。スパイダーマンはMARVELの作品の中で1位2位を争うくらい大好きな作品だったので、スパイダーマンのエリアに行けてとても嬉しかったです。1日中USJにいましたが、1日じゃ足りないくらい楽しかったです。

この4日間で1番美味しかった食べ物は、うどんです。関西のうどんは食べたいなと思っていたので、4日目の奈良公園でうどんを食べることができました。ですが、うどんのほかにハンバーグ弁当が出ました。さすがに食べきれない量じゃないだろうと思っていましたが、完食しました。ほんとに食べることが大好きなので、幸せを感じながら頑張っていました。うどんは北海道と違い、出汁が効いていてとてもおいしかったです。北海道のうどんより関西のうどんの方が好きですね。

見学旅行前日に高熱が出て、見学旅行に行けるかわかりませんでした。見学旅行に行けないという覚悟もしていました。が無事に行けてよかったです。とても楽しかった4日間になりました。



一年を振り返って

1学年 柿崎 希絆

私は1年間で思ったことがたくさんあります。

高校に入ったばかりの時は不安や緊張などが多くあり心配でしたが、2週間経つ頃にはそんなことも忘れて新しくできた友達と話したり、学校行事で楽しんだりするようになっていました。

しばらくして学校祭をはじめとするイベントが始まりました。より楽しいものにするために、クラスメイトと協力し合ったり、先輩方からのアドバイスを聞いたりして過ごしました。また、検定を受けて合格できました。

行事だけでなく生活面も大幅に変わりました。中学校時代、崩れていた生活リズムのためにできなかった勉強など信じられないくらいにできるようになりました。自分ではないように感じるくらいです。初めは通信制に行こうと思っていたのですが、全日制の商業科に入り、色々チャレンジできて良かったと思っています。



令和4年度 PTA・文体後援会活動

- 4月 8日(金) 奈井江商業高等学校PTA・文体後援会入会式
- 4月22日(金) 奈井江町PTA連合会総会
- 4月23日(土) 奈井江商業高等学校PTA・文体後援会総会
- 5月23日(月) 第1回 PTA・文体後援会役員会
- 5月28日(土) 高P連空知部総会(岩見沢市 書面審議)
- 6月11日(土) 北海道高等学校PTA連合会大会(釧路市 オンライン配信)
- 6月22日(水) 第2回 PTA・文体後援会役員会
- 7月 6日(水) 第3回 PTA・文体後援会役員会
- 7月17日(日) 学校祭→模擬店・抽選会・花火打ち上げ協力
- 9月30日(金) PTA会報「實根」(第134号)発行
- 10月8日～9日 第69回日本PTA北海道ブロック研究大会(動画配信)
- 11月 9日(水) 奈井江町教育の明日を考える集い 兼 奈井江町PTA連合会研修会参加
- 11月19日(土) 高P連空知支部秋季研修会(岩見沢市)
- 3月 1日(水) PTA会報「實根」(第135号)発行
- 3月15日(水) 第4回PTA・文体後援会役員会(予定)



「自分新発見。 夢、奈商で。」

卒業おめでとう 奈商プライド 輝く未来へ新たな挑戦!【自主・和協・希望】



1日防災教室



1日防災教室



交通安全講話



卒業生による進路講話



町長と語る会



上級学校見学(1年)



総探発表会(1年)



課題研究発表会(3年)



球技大会